

# 校長室便り



(家庭数配付)

令和5年1月10日

第9号

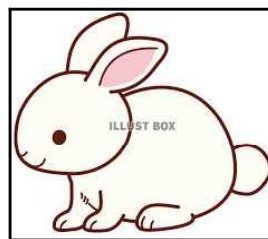
白井市立白井第一小学校  
校長室発行

## 今年の抱負

令和5年がスタートしました。今年もよろしくお願いたします。

さて、昨年寅年は「新しい芽が成長する年」と紹介しました。本校でも新しい芽がいくつか芽生えてきました。たとえば、3、4年生で理科の専科授業が行われましたし、市の音楽祭には6年生がクラスで出場しました。タブレット端末の活用も拡がり、授業以外でアンケートにも活用しました。スーパーマーケットのリモート見学も行いました。また、コロナ禍でも水泳教室、一泊二日の自然教室ができました。その中でも私が一番嬉しかったのは、「子どもたちが自ら考える。」場面が増えたことです。学校生活の中で子どもたちの発案で実践されることがいくつもありましたし、学習面では記述式問題の正答率が向上しました。「子どもたちが自ら考え、行動する。」大切な芽だと思います。

では、今年卯年とは言う、「芽を出した植物が成長して、芽や葉が大きく成長する年。」だそうです。本校でも、昨年芽生えた大切な芽を、更に大きく成長させていく。そんな年にしたいと思えます。そこで、今月行われる「ちばっ子学びの未来デザインシート」について紹介します。この取り組みは、千葉県下の全小学校3年生から中学校2年生までを対象に、「習得してきた知識・技能を生きて働く力として活用できているか」を確認するために行われます。具体的には、各学年12月までに各教科で学んだ内容を複数教科使わないと解けない問題がタブレット端末に配信され、子どもたちが各教室で問題を解きます。これまでの各教科ごとの問題と違い、「何が問題なのか。」「この問題をどうしたら解決できるか。」をしっかりと考えることが重要になってきます。同じような問題を教室では解いたことがないと思えますので、今まで得た学力を最大限活用して、問題を解いていかなければなりません。まさに、「自ら考える力」が試されます。もちろん、学校の各教科への評価には一切関係しません。しかし、これから子どもたちが自分の進むべき道を切り開いていくためには、必ず必要となる力だと思います。結果が楽しみですし、その結果を受けて授業を改善していく必要も出てくると思えます。



昨年私は、6年生に「なぜ勉強するの？」という質問をしました。その時は「自分の得意なこと、好きなことを見つけるためにたくさん勉強して欲しい。」という話をしましたが、学校教育の大きな目標は、社会に出て活躍できる人材を育てることだと思います。各教科で得た知識が日々の生活に役立つようであれば、子どもたちの学習意欲も高まっていくことでしょう。子どもたちが教室で勉強している内容が、単なる知識にとどまらず、いろいろな行動に移すことができる「真の学力」になっていくことを目指します。それが、「新しい芽が成長する」ことだと思います。



## 祝開通

マチコミでもお知らせしましたが、正門前の歩道橋の修理が終了し、通れるようになりました。修理まで長い時間がかかりましたが、その間、様々な方々が、行政への要望活動をしていただきました。感謝申し上げます。

歩道橋が通行止めの期間、近くの横断歩道を利用して登下校する児童が数名いましたが、その様子を見ていて、本当に「ゼブラストップできない車が多い。」ことに気づきました。児童が旗を持って横断歩道前に立っていても、全くスピードを緩めず通り過ぎていく車の多いこと。児童には完全に車が止まったことを確認してから横断歩道を渡るように指導してきましたが、保護者が付添って渡していただいていたご家庭もありました。ありがとうございました。歩道橋修理完了までの間、事故がなかったのは児童・保護者の皆様のおかげです。改めて、お礼申し上げます。また、引き続き交通事故防止へご協力をお願いいたします。

